2010年度　法医学　本試験

問題１・・・選択肢問題

１　突然死の危険因子ではないものを一つ選べ

１左室肥大

２タバコ

３高コレステロール血症

④女性

５（復元できず）

２　死体の個人鑑別について正しいものを選べ。

 ①生存時に治癒痕のある歯が、死体時には健全な歯だった場合、矛盾している。

 ２男女の差が一番出るのは頭蓋骨である。

 ３大泉門は小泉門より早く閉じる

 ４頭蓋骨は外板から内板へ癒合する

 ５（復元できず）

３　脳ヘルニアについて・・・問題の復元不完全。

 １蝶形骨縁ヘルニアでは・・・

 ２帯状回ヘルニアでは・・・

 ３中心性ヘルニアでは・・・

 ４上行性テント切痕ヘルニアでは・・・

 ５小脳扁桃ヘルニアでは・・・

各々の脳ヘルニアについて、脳がどこからどこへ押し出されるかが問われていた。

４　児童虐待について正しいものを選べ

１Shaken baby syndromeでは、顔面と頭部の外傷がよく合併する。

２児童虐待について医師が通報した場合、守秘義務違反に問われる場合がある。

③（？）児童虐待で虐待の把握が最もし難いのは性的虐待である。

４、５（復元できず）

５　73歳男性　救急外来に心配停止状態で搬送され、その約３０分後に死亡が確認された。担当医は異状死体届けを提出しなかったがこの場合、提出しなかった理由として正しいものはどれか

１高齢であり、一時心拍が回復した

２原因不明であったが、遺族が提出を拒否した

３原因不明であったが、狭心症の既往があった

④外傷がなく、CT検査でくも膜下出血と死因が判明した

５CT検査で外傷性くも膜下出血が死因であると判明した

６　病理解剖を行った患者の遺族にスーパーでばったり出会った。あなたが取るべき態度はどれか。

１逃げる

２病院で説明するという

３その場で説明する

４遺族の家で説明するという

５（復元できず） ・・・どれでもいいんじゃないかと・・・

問題２　人血と判明した血痕がある。この血痕の血液型鑑定について簡潔に述べよ。

問題３（１）（２）について、知るところを簡単に説明せよ。（３）については、各縫合の名前を記せ。

（１）＜交通事故の死体の写真＞

（左肩から右わき腹に向けて瘢痕、下腹部を水平に横切る瘢痕がある死体の写真

おそらくシートベルトによる傷害）

（２）＜顕微鏡写真＞（実習の血液検査で顕微鏡観察したヘモクロモーゲンの写真）

（３）（頭蓋骨を上から見た写真。４つの縫合名を答える）

問題４

以下のような白骨死体に関して、どのような個人識別の方法をとるべきか述べよ。

要件：白骨死体　５０才男性　死因不明　治療歯あり　全歯あり　運転免許あり

運転免許から追跡の結果、白骨死体本人らしき人は・・・

一人暮らしで一か月前から行方不明。O型。

息子と思われる人物が北海道に在住。血液型はAB型。

問題５　以下の選択肢から、中毒の所見と検査法の正しく組み合わせ、そこから予想される死因を書け。

①アセトン臭 a. Triage DOA AMP

②アーモンド臭 b. Triage DOA OPI

③膀胱尿貯留 c. Triage DOA BAR

④紅鮮色の死斑 d. Triage DOA TCA

⑤紅色の死斑 e.血中濃度3.5mg/ml

⑥縮瞳 f. Hb-CO 78%

⑦散瞳 g. Shenbein-Pagenstechewr法

⑧気管内の微細泡沫 h. ハイドロサルファイト法

⑨脂肪眼 i. 抗コリンエステラーゼ陽性

所見 検査法 死因

（　アーモンド臭　） （Shenbein-Pagenstechewr法） （青酸カリ中毒）

（　紅鮮色死斑　　） （　　Hb-CO 78%　　） （急性一酸化炭素中毒）

（　　　縮瞳　　　） （抗コリンエステラーゼ陽性） （　　農薬中毒　　）

（ ） （ ） （ ）

（ ） （ ） （ ）

全部で５問か６問・・・所見と検査法は記号で答える。死因は語句を書きいれる。

問題６検案書問題

岡田武志

７月２２日６時ごろ、通行人が窓から煙の立つ人家を発見。

７月２２日６時１０分鎮火

岡田武志氏が自室にて死亡しているのを発見された。

普段からヘビースモーカーで、以前にも何度かボヤ騒ぎを起こしている。

１５６ｃｍ、７２ｋｇ

同日午前９時、解剖開始。死斑は指圧でわずかに消失

死後硬直は 顎・首・膝・股＝３ （３＝強い　２＝中度　１＝弱い）

肩・肘＝２ 足＝１

角膜は微混濁で透視可　直腸温３２℃　外気温２５℃

Hb-CO　左房　１５％ 右房１３％　血中アルコール0.9mg/ml

心臓：冠動脈の中度粥状硬化

肺：高度のうっ血所見

脳：写真 （上から見た写真。全体的に血にまみれている。

 裏返して、脳の底部を見た写真。ウィリス動脈輪が写っている。

 脳底動脈と後大脳動脈分枝部に瘤が見える。）

問題７枝野幸雄氏

７月２１日前原氏と酒を飲みに行く。午後１１時帰宅。

翌日、１０時開始の議会に出席しなかった枝野氏を心配して前原氏が枝野氏の自宅を訪問。

午後４時、自室でうつぶせになって死亡しているのを発見。

同日午後９時、司法解剖開始。

死斑は強く出て、指圧で退色しない。

硬直は全身で強度。

角膜は半ば混濁。透視わずかに可。

直腸温２９℃　外気温２５℃

所見

・脳・肺に高度のうっ血

＜心臓の写真＞

・（心臓の外見全体）

・（冠動脈血栓の写真）

・（心臓を切り開いた（心膜腔に溜まる血液を見せている？）写真）

・（心臓の横断スライス写真　左室壁や中隔壁に血がしみ込んでいる。（心臓破裂？））

⇒おそらく　心臓破裂からの心膜腔内出血から、心タンポナーデ

問題８　検案書問題

大嶋優子　某病院に勤める看護士

７月１８日、友人と遊園地に行き、午後５時帰宅。すぐ自室へ。

７月１９日午前７時　母親がクローゼットで洗濯紐を首にかけ死亡しているのを発見。

７月２０日午前９時　検案開始

直腸温２５℃　外気温２５℃

硬直は全身。しかし緩解し始めている。

角膜は半ば混濁　瞳孔の透視は不可。

腐敗と水泡はなし。

死斑は背面に強く、指圧で退色しない。

⇒縊死

問題９（おまけ問題　無回答でも点数に影響なし。答えれば点数になるのかも？）

　あなたが提出・連名したレポートの題名を書きなさい。